

プラットフォーム
ビジネス

「自由な働き方」の罠

コロナ禍でデジタル化が急速に進む私たちの暮らし。グローバル企業による「プラットフォームビジネス」も急成長を遂げ、私たちの消費スタイルや働き方も大きく変わろうとしています。「ウーバーイーツ」に代表されるフードデリバリー・サービスでは、スマホ一つで「好きな時間に、自由に働ける」とされています。しかし、配達員からは「報酬の基準がわからぬ」「アカウントを突然停止された」交通事故に遭った場合、会社負担の労災は適用されないなど様々な問題が提起されています。プラットフォームビジネスは本当に自由で公正なのでしょうか――？その実態を取り材し、労働者の権利と企業の責任について考えます。

フードデリバリー

FOOD DELIVERY

ライド・シェアリング
RIDE-SHARING

4月発売

監修／川上資人（弁護士、日本労働弁護団常任幹事・同事務局次長）
制作／アジア太平洋資料センター（PARC）

2022年／DVDまたはオンラインでストリーミング視聴／カラー 35分

デジタル経済が進む中で躍進する“プラットフォームビジネス”。 アプリを使って顧客と働く人をマッチングさせる仕組みは 本当に“自由で公正な働き方”なのか？

インターネットでの買い物や決済、SNSでのコミュニケーションが当たり前となった私たちの暮らし。新型コロナウイルスの感染拡大は、テレワークや遠隔授業の必要性を高め、IT技術の利用を一層加速させました。

そんな中、ウーバーイーツに代表されるフードデリバリー・サービスも拡大しています。「プラットフォーム企業」が運営するこの新たなビジネスでは、アプリ一つで飲食店と顧客、配達員をマッチングさせ、「誰でも、好きな時間に、自由に働ける」とされています。日本での配達員は約10万人と言われますが、配達員はウーバー社と「アプリ使用」契約を交わすだけで、「個人事業主」として配達を請け負います。本来なら対等であるはずの関係ですが、実際にはウーバー社が報酬金額を一方的に切り下したり、複数日にわたり労働に従事するような報酬システムとなっています。配達員は会社側と待遇を協議することもできません。

欧州を中心とする海外ではこれら配達員の「労働者性」が裁判でも認められ、事故の際の社会保障や労働組合と企業の団体交渉などが認められるようになってきました。

日本でも、配達員たちがウーバーイーツユニオンを結成し、会社側へ報酬や評価に関する情報の透明性や、団体交渉を求める動きが始まっています。作品では、ウーバーイーツの配達員やユニオンの取材を通して、「自由な働き方」がはらむ問題点を提起します。



監督: 土屋トカチ

1971年京都府生まれ。映画監督。新聞配達・書店員・日雇い労働等を経て、99年より映像制作を開始。映像グループ ローポジション所属。長編1作目「フツーの仕事がしたい」(08年)は、英国、UAEの国際映画祭で、ベストドキュメンタリー賞を受賞。長編2作目「アリ地獄天国」(19年)は、2019年貧困ジャーナリズム賞、独・第20回ニッポン・コネクション観客賞、米・ピッツバーグ大学 第2回日本ドキュメンタリー映画賞グランプリ、仏・第1回日本の窓映画祭2021など受賞多数。DVD「ブラック企業にご用心」「ブラックバイトに負けない」「コンビニの秘密」「どうする?日本の水道」(いずれもPARC作品)を制作。

2022年
4月
発売



プラットフォームビジネス 「自由な働き方」の罠

2022年 / DVDまたはオンラインでストリーミング視聴 / カラー35分 / バリアフリー日本語字幕・英語字幕 / 解説資料集付き

一般価格 **4,500円+税**

図書館価格:15,000円+税

DVDのご購入・上映会開催申込み・お問い合わせは



特定非営利活動法人
アジア太平洋資料センター
(PARC)

PARC

<http://www.parc-jp.org/>

検索

TEL 03-5209-3455

E-mail office@parc-jp.org

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F FAX: 03-5209-3453

Highlight 作品ハイライト



上映会を開きませんか？

全国各地での上映会開催を呼びかけています。地域やグループでぜひ企画ください。

- 事前にDVDをご購入ください
- DVD代金と別に、上映料(1回1万円+税)
×上映回数がかかります。
- 詳しくはPARCのウェブサイトをご覧ください。
- オンライン上映会をご希望の方は事務局にご相談ください。